

## 『認知症研修会 認知症ケアをめぐる最近の動向』 アンケート集計

### ① 職種を教えてください

介護職員 117名 訪問介護員 15名 介護支援専門員 25名 生活相談員 9名  
医師 1名 看護師 61名 リハビリ職員 2名 精神保健福祉士 2名  
その他 10名

### ② 認知症ケアについて、困難と思うことはありますか

よく思う 117名 時々思う 105名 あまり思わない 14名 思わない 0名

### ③ 本日の研修はいかがでしたか

大変良かった 202名 良かった 30名 期待したほどではなかった 0名

### 《感想》

- 実体験をもとに話して頂き、とても分かりやすかったです。認知症の方との関わりが楽しくなりそうです。
- 改めて認知症のことを学ぶことができ、勉強になりました。「その人の人生の最後を支えている仕事だ」ということを忘れずに、誇りをもって仕事をしていきたいです。
- BPSD の考え方が変わりました。また、色々勉強してケアの質を上げていくことも大切だと思いました。
- 認知症の方の不安に安心してもらうためのうそが納得ではなく、あきらめではないかとの説明を聴いて考えさせられました。質の高いケアを提供できるように今日学んだことを活かせたらと思います。
- 介護者のあり方は知識、技術を学び質を高めること、関わり方の方法、何度も研修を受け自分が楽しく介護職として続けていけるものを教えてもらいました。
- 分かりやすく説明してもらい理解しやすかったです。エピソード、笑い話も入りとても楽しく研修を受けられました。
- 一応学習であるので、ちゃんとした机のある部屋で、じっくり受講したいものです。料金まで払っているのにがっかりです。遠方から来た上にこの学習環境はないと思います。それも、一日講義がこの状態ではきついです。講義は楽しかったです。
- 専門職として知識を深め、理解をすることで認知症とその人を見ていく視線を身に付けていきたいと思いました。事例やユーモアを交えてとてもわかりやすく引き込まれる研修でした。ありがとうございました。
- 最近の動向という事で、新しい情報や認知症に対する知識が増えた。明日からまた新しい気持ちで仕事に取り組みます。
- 認知症ケアの難しさ、取り組むことの楽しさも感じる事ができました。もっともっと知識を身に付けることが必要だと感じました。
- 分かったつもりで今までケアにあたっていたけれど、間違ったケアをしていたことがわかりました。

日々の業務に追われ大変ですが、そういう時に今日の講義を思い出して対応していきたいと思いました。ありがとうございました。

- エアコンが効きすぎてとても寒かった。
  - 今まで認知症と一言で済まされていたのですが、今回の研修を受けて認知症の方一人一人の現状をしっかりと見つめ今より少しでも良いケアが出来るように頑張りたいと思いました。
  - 笑い話も含めながら分かりやすい研修で聴きやすかったです。
  - 「認知症の方は困っている人なのだから親切にしてあげてください」本当にそう思いました。
  - 認知症の人ではなく、一人の人として介護をしていきたいです。
  - 具体的で分かりやすく教えて頂きました。事例を交えてだったので自分の行動や言動も振り返りながら研修を受けることができました。さっそく行動にうつしたい。
- 研修中に写真撮影するタイミングを考慮していただきたい。フラッシュが何度もあって気が散ります。事前に説明したほうが良いと思います。
- 今回の研修に参加し、今まで自分が行っていたケアが間違えていたことに気づいた。困っているのは職員ではなく利用者だということをしっかり理解し、人生の質を高めるようなケアを行えるよう努力していきたいと思う。
  - 四大認知症それぞれの症状の特徴と、それに対する対処や対応の仕方を学ぶことができて大変勉強になりました。
  - 現場で接している方々をより専門的に理解できました。より知識の幅を広げていきたいと強く思いました。
  - 最近のケアの動向と不適切なケアをその場しのぎではなく、プロとして一人の人をサポートするという事について考えさせられました。
  - 臨床での経験談をふまえた講義だったのでとても参考になり終始楽しく聴けました。今後の看護に活かしたいです。
  - 新しい診断基準、病態別の対応、本人を取り巻く環境への働きかけ、等々とても参考になりました。学ばせて頂いたことを認知症初期集中支援チーム員として生かしていきたいと思います。
  - 興味深く講義して下さったので、あっという間の時間でした。よく整理されたテキストも大いに助けになります。自分なりのノウハウを基礎に忠実に築いていきたいです。従事者の苦悩をしっかり受け止めて下さり大切なことを見逃さない姿勢の加藤先生は素晴らしい。来年もお越しいただきたいです。
  - 病院でも認知症の方が増えていて急性期での治療が困難な所があります。私たちは治療とその方の生活を苦痛なく提供できるよう今回の研修の学びを活かしたいと思いました。
  - 実践にあたり様々な困難を感じます。在宅に送り出すにあたり、認知症やその他の介護の一般の方への指導の必要性を心から感じています。分かりやすい良い研修を行って頂き、皆さんの不安を軽減して頂きたいと思います。
  - 現在、介護を行っているが中核症状の理解、BPSD の理解を充分にしておくことが大事に感じた。介護を受ける者の側に立ったケアのあり方を学んだ。
  - 先生のお話を伺って施設に戻ってまずチームのスタッフを褒めたいと思います。さらに繰り返し研修を企画し、入所者様にとってより良い居場所づくりをスタッフと一緒に考えていきたいと思いま

した。

- BPSD はなぜ起こるのか、このことをいつも頭においてケアを行っているつもりだが、まだまだ足りていないという思いになりました。
- 念願の先生の研修でした。このような研修で学習や日々のケアの振り返りを常にしていくことが大事であると感じました。
- 加藤先生の温かな心地良い声で興味深く聴くことができた。生活習慣病は耳慣れしすぎて危機感が薄くなっていたが、改めて自分自身も管理する必要があると感じた。利用者への声掛けにも生かせると思う。わかりやすい言葉で説明して頂け感謝いたします。
- 原因疾患別ケアの概要だけではなく、具体的なケアや実例をもとに講演されていたので現場でも活かそうと思えた。認知症の人の立場、心情を改めて考えさせられました。
- ケアに対する難しさ、業務に追われて入所者さんの話を十分に聴くことができなかつたり、家族への気遣いの大切さを改めて気づかせて頂きました。
- とても内容の濃い研修でしたが、時たま先生のユーモアを交えられあつという間の時間でした。もう少し時間があって質疑応答の時間が取れたら良かった。
- 認知症の方が適切なケアを受けられていないことがまだまだ多いと思う。私の職場（老健）でも認知症（診断はついていない事が多い）の方を怒ったりしている。認知症は脳の病気なので症状は多様だが、もっと関わる人の知識が上がるようになるとよいと思った。
- 内容はとても良かったが、会場の関係か暗くて記録がしづらかった。机のある部屋でじっくり聴けたらもっと良かった。
- 資料も十分な情報がありますが、パワーポイントもイラストがあつて、視覚的にも知識を吸収しやすくまた、説明はこれまでの現場でのコミュニケーションからの経験を通して説明があつたので共感でき、非常に入り込みやすい講演でした。
- うそのコミュニケーションで悩んでいました。本当の事を短く伝えてみようと思っています。
- このような内容の多い研修をなぜ当施設長は勧めないのか、チラシの提示すらしない。素晴らしい先生に巡り合いたいと思います。
- 今まで認知症の研修は上司に云われて行くものでしたが、今回の加藤先生の講演はとても興味深いものでした。認知症と一つにくくらず、分類に分け、その人一人一人に合ったケアについてももっと考えたくくなりました。先生の 30 年も同じことをすれば専門職と云えるという言葉が一番心に響きました。
- 加藤先生のお話をお聞きして自分たちの行っている事が良かったと確認できて良かったです。私が認知症になった時に明るい生活が送れるよう、頑張っていきたいと思います。
- だます、嘘をつく、嘘しかつけないで申し訳ない。嘘をつくのが当たり前になってはいけない。本当にそう思いました。
- 何度も学習したことも、繰り返し初心に帰って学ぶことが大切だと思いました。また、その中で情報も変化していくこともあるのでリセットできました。
- ケアを行うにあたり、寄り添った嘘も必要だと思ひその場をしのいできたこともあつたけれど、やはりその方の不安感を和らいでもらうにはとことん合していく忍耐も必要だと思った。
- 講義の内容も分かりやすく 5 時間があつという間でした。また、加藤先生の心の声が合間に入り、

その部分がとても面白かったです。特に「表現」についての部分は、納得しながら聴いていました。私はデイサービスの職員なのですが、もっと家族にも目を向けて耳を傾けられるよう努力しようと思いました。

- 専門職ではありませんが、自分の周辺には認知症ではと思う方、その家族の方が少なからずいらっしゃいます。専門職へつなぐ事が大切だと思いました。
- パワーポイントに入っている物も資料に入れてほしい。
- トンネルの中で少し光が見えた気がします。
- 年齢が増すごとに自分の介護感も変わってきて、今回の研修に参加した新たな目的、目標が持てたように思う。
- 2月の認知症ケア学会の時にもお世話になりましたが、自分が認知症になると宣言する先生の話は衝撃的でおかしいです。今回は DLB と FTD の症状を詳しくまとめてある物を頂けて良かったです。少しずつこの 2 つの病気の違いを考えつつ、予測を立てて受け入れてもらえる関わり方を考えていけるようになったので、職場でも共有していきたいです。
- 現場でよく困るケースも多々あります。本当に困っているのは、その人であり本人が困っている事を理解し、ケアの在り方を考えさせられました。
- 内容がとてもよく解って認知症の種類別対応策も自分なりにとらえる事ができた。自分だけの理解ではなく、皆と共有したい。
- 認知症の人に「嘘をつく」後ろめたさもありつつ、事実を伝えることの難しさも感じます。居心地のいい場所づくり、居場所づくりに心を砕いていきたいと思いました。

④今後受けてみたい研修内容、研修講師などありましたら、記入して下さい。

- 加藤先生の研修をまた希望します。 ・認知症ケアに関する具体的な研修。
- 口腔ケア。 ・虐待、身体拘束防止についての研修。
- 経済的虐待の事例について、長期的に関わるが解決難しく、長期的な見守りが続いている。
- 認知症の研修を増やして欲しい。 ・看取りケアについて。
- 三好春樹先生。宮島渡先生「認知症の人の理解」など。石飛幸三先生。宮崎直人先生。
- ユマニチュード技法について。 ・感染症について。
- 認知症による様々な BPSD 症状の対処成功例と事例に関して。
- 今回、ケア専門士の単位になって嬉しかった。これからもコラボして頂きたいです。
- 脳活プログラムについて。 ・介護職のためのストレス、メンタルケアについて。
- 最新、需要の多い福祉用具の活用や取扱いについて。 ・職員への指導方法について。
- ポジショニング、拘縮の強い利用者についての方法。 ・レクリエーション活動について。
- 職場の風土を高める研修。 ・アンガーマネジメントについて。

ご協力ありがとうございました。